

## 特集：外国人労働者

### 【外国人労働者】

政府は、今、新しい在留資格創出の研究など、新しい働き方改革として、外国人労働者に目を向け、「特定技能」にかかわる職種を拡大する方針を固めています。また、制度創設時における、介護、農業の人材のほか、その時々における働き手不足の職種の拡大を論議しています。この「特定技能」を巡る諸手続きを中心に解説します。



### 【書籍の紹介】

#### ★外国人雇用書式・手続マニュアル 永井 知子・鳥居 さくら・橋本 裕介

日本法令 (2020.1) 366.89/94

2018年の臨時国会で入管法が改正され、外国人材受け入れ拡大のための在留資格の創設などが、新たに盛り込まれました。これまで、日本が受け入れてきた就労目的の外国人は、高度な専門知識や技術を有する外国人のみでした。しかし、近年の深刻な労働力不足を背景に、特に、人材確保が困難である地域や産業分野において、高度人材以外の外国人も受け入れられるようになりました。新たな在留資格「特定技能」外国人の受け入れのための書式や手続きについて、例を多用しながら解説します。

#### ★外国人雇用のトラブル相談Q&A —基礎知識から具体的解決策まで— 本間邦弘・坂田早苗・

大原慶子・広川敬祐 (トラブル相談シリーズ) 民事法研究会 (2017.06) 366.89/85

海外企業との折衝を担う弁護士、外国人の就労や帰化などの業務をこなす行政書士、外資系監査法人での業務経験のある公認会計士、国籍を問わず労務などの相談に対応する社会保険労務士たちが、事例に基づき、実務・最新情報等を紹介し、外国人の雇用に関して、初めての人でも利用できるようにまとめてあります。採用と活用の基礎知識に始まり、就労資格、募集から採用までのトラブル、労働条件、労働環境、社会保険、懲戒、休職・退職・解雇など、具体的な疑問62に答えてゆく相談集です。

#### ★法務・労務のプロのための外国人雇用実務ポイント 杉田昌平

ぎょうせい (2019.12) 366.89/91

外国人材の採用を計画しているか、すでに採用している企業の人事担当者や外国人雇用に関連した業務を行っている実務者に向けて、参照することを弁護士である著者が解説します。出入国関連法令、労働関係法令や社会保険関係法令を概説し、外国人の支援に関する法制度、外国人材とコンプライアンスについて検討しています。少子高齢化に伴う社会の働き手不足があり、特定技能制度も含め、外国人材の受け入れに関する法務・労務を解説します。



## ★人口減少社会の雇用 —若者・女性・高齢者・障害者・外国人労働者の雇用の未来は?—

西川清之 文眞堂 (2015.04) 366.2/663

わが国の総人口が初めて減少したのは、2005年のことでした。その後も徐々に減少幅は広がってきています。総人口の減少に伴って、労働力人口も減っています。その中で、厚生労働省は、2012年に日本経済の低成長が続いて、労働市場の改善が進まないと、適切な経済成長が望めない推計をまとめました。経済成長を実現するための前提を実現するため、様々な人を労働市場に参加させるシミュレーションを行いました。人口減少社会における雇用の主役となるものは何かを若者、女性、高齢者、障害者、外国人について、それぞれ考察しています。

## ★日本の外国人労働力 —経済学からの検証— 中村二郎・内藤久裕・神林龍・

川口大司・町北朋洋 日本経済新聞出版社 (2009.06) 366.89/73

わが国における外国人労働者の労働市場に与える影響を、実証的に把握するため、複数の統計のマイクロデータをデータベース化して、マッチングしながら考察をします。既存の統計を組み合わせたデータベースをもとに分析をし、外国人労働者についての情報をあぶりだします。賃金構造基本統計調査による推定結果から、外国人雇用状況報告、その双方から外国人の雇用や初任給、地域による格差などを分析してゆきます。

## ★日本の外国人留学生・労働者と雇用問題 —労働と人材のグローバル化と企業経営—

守屋貴司 編著 晃洋書房 (2011.09) 366.89/78

世界の中でも急速に少子高齢化が進み、人口減少が予想される、わが国において、外国人労働者の採用・雇用・評価・教育に関する研究は進んでいます。しかし、経営分野、労務研究分野における、日系人や外国人労働者や外国人研修生・技能実習生や留学生の研究は、いまだ進んでいません。特に外国人研修生・技能実習生の問題は、センセーショナルに取り上げられることが多いのです。本書では、絶対的比率の高い中国人の留学生らに焦点を当てて、分析をしています。

## ★奴隷労働 —ベトナム人技能実習生の実態— 巢内尚子 花伝社 (2019.3) 366.89/89

技能実習制度は、その構造から、技能実習生を結果的に入れ替え可能で、交渉力の弱い労働者にしてしまいます。また、その人たちの諸権利を制限し、結果的に搾取や差別にさらすという状況を常態化させています。もし制度が変わり、技能実習生も職場移転の自由が保障されれば、技能実習生は、良い会社に来ることになり、人を集められない会社は、淘汰される可能性があります。著者と接点を持ったベトナム人技能実習生たちの姿を紹介します。

## ★横浜・寿町と外国人 —グローバル化する大都市インナーエリア—

山本薫子 福村出版 (2008.03) 366.89/69

かながわ労働プラザがある横浜・寿町—そこで暮らす外国人を取り巻く、社会的世界が描かれています。1970年代から進展する高齢化、港湾労働の合理化や機械化などの影響で、現役労働者の人口は減少し、生活保護受給率は、上昇し続けています。そうした変化の中で、外国人労働者は、1980年代から上昇し始めています。さらに、外国人労働者を対象にした飲食店、雑貨店などのエスニック・ビジネスを目当てに訪れる外国人も増加してきています。寿町という街で暮らす外国人、働く外国人のインタビュー記録を中心に、グローバルな事象などを紹介します。

## ★外国人材の雇用戦略 —採用・法務・労務— 杉田 昌平・五十嵐 充・佐原 賢治

日本法令 (2020.1) 366.89/93

人事戦略、入管手続き、人材労務について中心的に業務を行っている著者が、外国人材について紹介します。2019年に入管法が改正され、外国人材の採用を検討する企業は飛躍的に増えています。これから外国人材を登用しようとする人事担当者に向けて、留意する事柄をそれぞれの場面で解説します。